

教育・人材育成

卒業おめでとう!

—小学生 13 名、ハイスクール生 8 名が卒業—

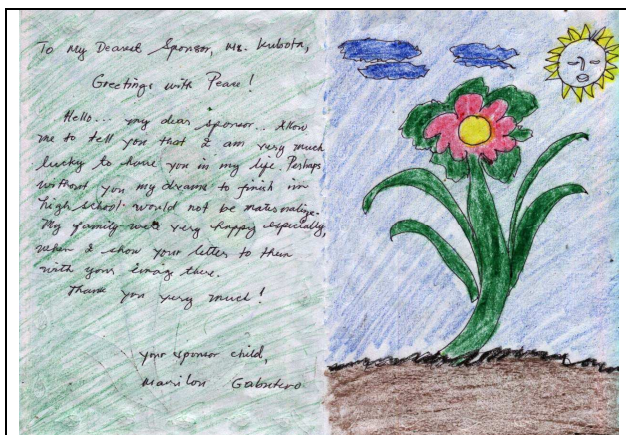
昨年度 CMIP を通じて支援した奨学生は小学生からカレッジまで合わせて 101 名、このうち小学生 13 名、ハイスクール生 8 名が、この 3 月に卒業しました(カレッジ、専門学校生は変則的で前期末の 10 月にジミー、レオ、ロジャーの 3 名が卒業)。

毎年平均して奨学生の 1 割、約 10 名の中退の報告を受けます。カレッジ生のドロップアウトが相次いだ年もありました。貧困、病気、成績不振、また、年長者の場合は結婚、妊娠などがその理由です。

山岳部の先住民族にとって、小学校 6 年間、ハイスクール 4 年間、あるいはカレッジの 2-4 年間、学校に通い続けるのは大変なことです。昨年もカレッジ生は 17 名中 3 名が中退しました。しかし、小学生、ハイスクール生に関しては、それぞれ 45 名中 2 名、39 名中 2 名がドロップアウトしただけでした。CMIP 奨学生担当のリコとロウエンダによるきめ細かな指導、サポートもよかったのでしょう。

晴れの日を迎えた卒業生に支援者の皆様のご協力をいただき、お祝いのメッセージを贈りました。先日一部の児童・生徒から礼状が届きました。以下にご紹介します。

<ハイスクール卒マリロウからのサンキューカード>



「主の平安！久保田様に会えて本当に幸せです。ご支援がなかったらこうしてハイスクールを卒業することはなかったでしょう。いただいたお祝いカードを家族に見せました。とても喜んでくれました。本当にありがとうございました！」 山崎抄訳

* 会員数が漸減するなか、今年の奨学生新規受け入れ枠はハイスクール 7 名、カレッジは 3 名です。子どもたちの進学のを支えてくださる方を募集しています

先生になりました!

小学校教員国家試験に合格したエドウィンに 3 月末に会ってきました。

エドウィンは現在サムラング村の CMIP 運営の幼稚園にて先生をしながら、公立小学校教師の欠員補充を待っています。



児童は 11 名でみなビラーン民族です。以前はもう少し多かったのですが、転居したり、通ってこなくなったりしました。

フィリピンの教育システムはデイケア(保育園)→幼稚園→小学校となっています。幼稚園では小学校入学前にある程度の読み書きができるような学習が求められます。幼稚園用の教科書を見せてもらいました。英語と国語であるフィリピン語、算数、科学と健康の 3 科目です。英語と国語はアルファベットの読み方、書き方、単語を覚えるなどの内容です。科学と健康では、自然環境の大切さを学び、花や野菜を育てます。

サムラング幼稚園を卒業した児童は公立小学校に進学します。その小学校もビラーン民族の子弟がほとんどですが、入学前にこれらのことを学んでいるかないかでは、理解力に差が出ます。

自身もビラーン民族であるエドウィンは、教育を通じて仲間とコミュニティに貢献できることに誇りを持ち、教えることを楽しんでいるそうです。

前回会ったのは国家試験前だったので、神経質になっていました。その後試験に合格し、教えることにも自信がついてきたのか、いろいろ説明してくれる口調に、たくましさを感じました。教員育成はコミュニティのためにも、奨学生本人の進路のためにも有効なことがわかりました。(九島)